

第6期みやぎ観光戦略プラン

実施計画

(令和8年度)

令和8年3月

宮城県

目次

第1章 基本的な考え方	1
1 計画策定の趣旨	1
2 計画期間	1
3 計画の構成.....	1
第2章 計画期間における数値目標及び観光成果指標	2
1 基本的な考え方	2
2 数値目標	2
3 観光成果指標.....	3
第3章 観光戦略プロジェクトに基づく具体的な取組	7
1 令和8年度の基本的方針.....	7
2 観光戦略プロジェクト	8
3 具体的な取組.....	19
第6期みやぎ観光戦略プラン関連事業調書【県事業】	19
第6期みやぎ観光戦略プラン関連事業調書【市町村事業】	26

第1章 基本的な考え方

1 計画策定の趣旨

「第6期みやぎ観光戦略プラン実施計画」（以下「実施計画」という。）は、県が「第6期みやぎ観光戦略プラン」（以下「第6期プラン」という。）に掲げた将来像の実現や数値目標を達成するため、計画期間における具体的な取組内容を取りまとめたものです。

実施計画は、毎年度作成し、数値目標に対する達成状況、観光成果指標のモニタリングを行うとともに、これらを踏まえ、より実効性のある取り組みを検討し、事業化を図っていきます。

2 計画期間

第6期プランと連動させるため、令和7年4月から令和10年3月までの3年間を本計画の期間とします。

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
宮城の将来ビジョン 新・宮城の将来ビジョン	【宮城の将来ビジョン】 計画期間：H19～R2			【新・宮城の将来ビジョン】 計画期間：R3～R12						
新・宮城の将来ビジョン 【実施計画】				【前期】4年間 計画期間：R3～R6				【中期】3年間 計画期間：R7～R9		
みやぎ観光戦略プラン	【第4期】 計画期間：H30～R4.9				【第5期】 計画期間：R4.10～R6			【第6期】 計画期間：R7～R9		
みやぎ観光戦略プラン 【実施計画】			【回復戦略】 計画期間：R2.10～R4.9		【実施計画】 計画期間：R4.10～R6			【実施計画】 計画期間：R7～R9		

3 計画の構成

第1章 基本的な考え方

第2章 計画期間における数値目標及び観光成果指標

第3章 観光戦略プロジェクトに基づく具体的な取組

- 観光戦略プロジェクトの概要
- 具体的な取組
- 第6期みやぎ観光戦略プラン関連事業調書【県事業・市町村事業】

第2章 計画期間における数値目標及び観光成果指標

1 基本的な考え方

本プランの推進に当たっては、第6期プランにおける「目指すべき姿」を実現するために、基本的な「数値目標」を設定するほか、プランに掲げる戦略を着実に実行していくために、「観光成果指標」を設定し、毎年度進捗状況の確認を行います。

本県観光の目指すべき姿

1. 地域資源を活かした観光コンテンツの提供により、県内の隅々まで観光客が訪れる観光地を目指します。
2. 地域経済の活性化に向け、地域を支える基幹産業である観光産業の持続的な発展を目指します。
3. 観光客の受入基盤整備を強化し、質の高いサービスの提供により、何度も訪れたい観光地を目指します。
4. 宮城でしか経験できない価値を効果的かつ積極的に情報発信し、国内外から訪れたい観光地を目指します。

2 数値目標

数値目標については、第5期プランで定めた3つの指標（宿泊観光客数、外国人観光客宿泊者数、観光消費額）を継続的にモニタリングするとともに、宿泊観光客数については、圏域ごとに令和元年水準までの回復に差が生じていることから、圏域ごとの目標値を設定しました。

また、観光消費額の増加に向け、「質」の向上を意識するために、新たに観光消費額単価を追加しました。



	目標指標	実績値	実績値	実績値	第6期プラン 目標値	把握方法
		令和元年	令和5年	令和6年	令和9年	
①	宿泊観光客数	989 万人泊	943 万人泊	988 万人泊	1,104 万人泊	宮城県「観光統計概要」
	仙南圏域	71 万人泊	63 万人泊	63 万人泊	75 万人泊	
	仙台圏域	742 万人泊	727 万人泊	770 万人泊	830 万人泊	
	大崎圏域	77 万人泊	54 万人泊	58 万人泊	87 万人泊	
	栗原圏域	11 万人泊	9 万人泊	9 万人泊	11 万人泊	
	登米圏域	9 万人泊	8 万人泊	9 万人泊	9 万人泊	
	石巻圏域	38 万人泊	42 万人泊	38 万人泊	44 万人泊	
	気仙沼・本吉圏域	42 万人泊	40 万人泊	42 万人泊	48 万人泊	
②	外国人観光客 宿泊者数	53.4 万人泊	51.5 万人泊	74.3 万人泊	120 万人泊	観光庁「宿泊旅行 統計調査」
③	観光消費額	3,989 億円	3,985 億円	4,527 億円	6,000 億円	宮城県「観光統計 概要」
④	観光消費額 単価(日本人)	22,710 円/人	26,640 円/人		33,000 円/人	観光庁「旅行・観光 消費動向調査」
	観光消費額 単価(外国人)	54,526 円/人	71,768 円/人		90,000 円/人	観光庁「インバウンド 消費動向調査」





3 観光成果指標

数値目標のほかに、観光成果指標を設定し、本県の観光を巡る現状を多角的に分析・評価するとともに、毎年度、観光施策の見直し・改善を行い、効果的な施策立案につなげます。

観光は災害等の環境変化等に影響を受けやすいことに加え、観光施策の効果が速やかに現れるものだけではなく、効果が発現するまで時間がかかるものもあることから、観光成果指標は、継続的にモニタリングするとともに、時宜に応じた見直しを行います。
















観光客の視点							
観光成果指標	初期値		前回		現況値		経年変化 前回計測時点からの推移
		年/年度		年/年度		年/年度	
① 観光客入込数	4,495 万人	R3	6,824 万人	R5	7,052 万人	R6	
② 外国人観光客の平均泊数 (仙台空港から入国)	4.9 泊	R1	5.2 泊	R5	6.5 泊	R6	
③ 居住地別宿泊観光客数 (中部以西)	278,228 人 (8.7%)	R2	502,511 人 (10.4%)	R5	570,687 人 (10.1%)	R6	
④ 満足度 (魅力)	79.7%	R3 年度	75.5%	R5 年度	74.0%	R6 年度	
⑤ 満足度 (二次交通)	62.8%	R3 年度	57.9%	R5 年度	59.0%	R6 年度	
⑥ リピーター率 (2 回以上の来訪)	82.1%	R3 年度	82.1%	R5 年度	82.1%	R6 年度	
⑦ 再来訪意向	90.4%	R3 年度	87.6%	R5 年度	87.2%	R6 年度	
⑧ 観光地としての推奨度	73.3%	R3 年度	72.6%	R5 年度	72.8%	R6 年度	
⑨ 訪問経験	59.9%	R3 年度	59.1%	R5 年度	58.6%	R6 年度	
⑩ 教育旅行宿泊状況	56,453 人	R2	131,864 人	R5	136,570 人	R6	
⑪ 民泊者数	6,315 人	R3	15,330 人	R5	20,281 人	R6	

県民の視点							
観光成果指標	初期値		前回		現況値		経年変化 前回計測時点からの推移
		年/年度		年/年度		年/年度	
① 県内旅行の経験 (過去3年間)	62.4%	R3 年度	49.4%	R5 年度	51.0%	R6 年度	
② 県民の出国者数	9,376 人	R2	22,576 人	R5	45,438 人	R6	

県民の視点								
観光成果指標	初期値		前回		現況値		経年変化 前回計測時点からの推移	
		年/年度		年/年度		年/年度		
③	満足度（二次交通）	39.4%	R3 年度	26.8%	R5 年度	30.8%	R6 年度	
④	満足度 （ホスピタリティ）	47.0%	R3 年度	34.6%	R5 年度	36.6%	R6 年度	
⑤	外国人観光客に対する受入意向	66.8%	R3 年度	70.4%	R5 年度	58.8%	R6 年度	
⑥	サステナブルツーリズムに対する認知度	—		8.8%	R5 年度	9.0%	R6 年度	

観光産業の視点								
観光成果指標	初期値		前回		現況値		経年変化 前回計測時点からの推移	
		年/年度		年/年度		年/年度		
①	県内総生産（宿泊・飲食サービス業）	2,179 億円	R1 年度	1,581 億円	R4 年度	2,019 億円	R5 年度	
②	訪日外国人旅行消費額	440 億円	R1	353 億円	R5	549 億円	R6	
③	雇用誘発数	24,298 人	R2	52,292 人	R5	60,236 人	R6	
④	宿泊施設数 （旅館業）	1,028 件	R2 年度	1,014 件	R5 年度	1,016 件	R6 年度	
⑤	MICE開催数 （コンベンション）	232 件	R2 年度	1,588 件	R5 年度	1,551 件	R6 年度	
⑥	映画・テレビ等のロケーション撮影誘致数	32 件	R3 年度	35 件	R5 年度	45 件	R6 年度	
⑦	ワーケーション協議会参加数	150 団体	R3	157 団体	R6	150 団体	R7	

観光産業の視点

観光成果指標		初期値		前回		現況値		経年変化
			年/年度		年/年度		年/年度	前回計測時点からの推移
①	国・県指定文化財件数	391 件	R3	398 件	R6	396 件	R7	
②	震災伝承施設数	134 施設	R4	162 施設	R6	162 施設	R6	
③	ボランティアガイド団体数	58 団体	R3	57 団体	R6	60 団体	R7	
④	通訳案内士数	148 人	R4	155 人	R7	154 人	R8	
⑤	教育旅行体験プログラム数 (うち SDGs・探究学習) (うち震災・防災・減災学習)	293 件 (62 件) (40 件)	R4	359 件 (116 件) (48 件)	R7	359 件 (116 件) (48 件)	R8	
⑥	コンサート開催数 (グランディ 21)	25 件	R3 年度	35 件	R6 年度	29 件	R7 年度	
⑦	デジタル化取組状況 (全産業)	32.7 %	R4	40.0 %	R6	50.1 %	R7	
⑧	県公式サイトインバウンドコンテンツ数	797 件	R4 年度	932 件	R6 年度	838 件	R7 年度	
⑨	SDGs 未来都市選定数	3 件	R3 年度	4 件	R6 年度	4 件	R7 年度	
⑩	自然公園等環境整備件数 (工事件数)	10 件	R3 年度	11 件	R6 年度	8 件	R7 年度	
⑪	仙台空港定期便運航数 (国内線)	9 路線 49 往復 / 日	R4	8 路線 51 往復 / 日	R7	8 路線 51 往復 / 日	R8	
	うち中部以西の空港発着数	8 路線 35 往復 / 日		7 路線 36 往復 / 日		7 路線 36 往復 / 日		
⑫	仙台空港定期便運航数 (国際線)	0 路線 0 往復/週	R4	5 路線 37 往復/週	R7	5 路線 35 往復/週	R8	
⑬	農泊推進団体数	25 団体	R3 年度	26 団体	R6 年度	26 団体	R7 年度	
⑭	食材王国みやぎ地産地消推進店登録数	429 施設	R3 年度	529 施設	R6 年度	540 施設	R7 年度	

観光産業の視点

観光成果指標		初期値		前回		現況値		経年変化
			年/年度		年/年度		年/年度	前回計測時点からの推移
⑮	心のバリアフリー認定施設数 (宿泊施設)	4 件	R4	49 件	R7	63 件	R8	
⑯	みやぎの食べきりモデル店舗認定数 (宿泊施設)	2 件	R4	3 件	R7	3 件	R8	

マネジメントの視点

観光成果指標		初期値		前回		現況値		経年変化
			年/年度		年/年度		年/年度	前回計測時点からの推移
①	教育旅行マッチング件数（国内）	84 件	R3 年度	174 件	R6 年度	174 件	R7 年度	
②	有識者・地域の事業者からの意見聴取回数	16 回	R3 年度	32 回	R6 年度	22 回	R7 年度	
③	市町村観光計画の策定数	14 件	R4	14 件	R7	14 件	R8	
④	市町村観光協会の設置数（宮城県観光連盟会員）	25 団体	R4	25 団体	R7	24 団体	R8	
⑤	DMO登録数	5 団体	R4	7 団体	R7	5 団体	R8	
⑥	持続可能な観光地域づくりに取り組む地域数	1 地域	R5	1 地域	R7	2 地域	R8	

第3章 観光戦略プロジェクトに基づく具体的な取組

1 令和8年度の基本的方針

(1) 現状認識

令和6年の県内の観光客入込数は、7,052万人となり、前年に比べ228万人(+3.3%)増加し、過去最高の観光客入込数を記録しました。また、宿泊観光客数は、988万人泊と前年に比べ45万人泊(+4.7%)の大幅の増加となり、コロナ拡大前の水準と同程度に回復しております。

一方、圏域別の宿泊観光客数では、令和元年比で約7、8割の回復にとどまっている圏域があることに加え、インバウンド需要は東京、大阪、京都などの三大都市圏に集中しているなど、地域偏在の傾向が顕著となっております。

みやぎ観光戦略プランに基づく取組を引き続き安定的に実施し、更に強化していくために、令和8年1月13日に宿泊税の課税を開始しました。宿泊税の活用施策の検討に当たっては、みやぎ観光振興会議や新たに設置した宿泊事業者部会を通じて、市町村や観光事業者との意見交換や情報共有を行うなど、地域の実情を踏まえた効果的な施策について検討を進めてきたところです。

また、観光地としての認知度向上に向け、トレッキングの国際会議であるアジア・トレイルズ・カンファレンスの開催し、宮城オルレをはじめとした宮城県の魅力発信や県内6コース目となる宮城オルレ多賀城コースの開設を行い、誘客拡大に向けた取組を進めてきました。

県としては、人口減少社会における持続可能な観光地域づくりを目指すために、消費額単価が高く、滞在期間が長いインバウンドの誘客拡大に加え、県内旅行の長期滞在化を目指した取組を引き続き進めていく必要があると考えております。

(2) 取組の方向性

県では、令和7年度以降の観光戦略の基本計画として第6期プランを策定し、ポストコロナにおける新しいみやぎの観光として、これまで以上に地域の観光に光を当てるため、行政機関、観光事業者、住民、観光客等の多様な主体が一体となって、持続可能な観光地域づくりを推進していくこととしました。

施策の推進に当たっては、3つの視点として、視点①インバウンド需要・宿泊需要の積極的な取り込み、視点②持続可能な観光の推進、視点③デジタル技術の積極的な活用を定めたほか、施策の柱となる4つの観光戦略プロジェクトを定め、体系的に施策を立案・実施していきます。

第6期プランの2年目となる令和8年度は、新たに観光振興財源として導入した宿泊税を有効活用し、地域観光の課題解決や更なる誘客拡大に向け、取組の充実を図ってまいります。

具体的には、「戦略1 魅力ある観光資源の創出」として、地域の特色を生かした観光地域づくりを目指すため、市町村や観光協会等が行う滞在時間の長期化につながるコンテンツ造成などの観光振興施策を支援するとともに、「戦略2 観光産業の活性化」として、宿泊業の人手不足を解消するために、人材確保やマッチングを支援するだけでなく、質の高いガイド人材を確保・育成など、観光人材の育成・確保を進めていきます。

また、「戦略3 観光客の受入環境整備の充実」として、二次交通を中心とした、観光地間や観光地内での移動手段の確保やインバウンド受入環境整備として地図経路検索サービスの多言語化の推進のほか、「戦略4 国内外との交流拡大の促進」として、観光消費額単価が高く、滞在日数が長い欧米豪を誘客ターゲットとしたプロモーションや仙台空港の路線拡充を図るため、グランドハンドリングの体制強化を目的とした新たな補助金を創設するなど、更なるインバウンドの誘客拡大に向けた取組を展開してまいります。

2 観光戦略プロジェクト

本県の観光が目指すべき姿の実現に向けて、基本理念である「地域が主役となる持続可能な観光地域づくりを通じた“All-round”な観光地の実現」に向け、次の4つの戦略に基づき、体系的に施策を立案・実施していきます。

(1) 観光戦略プロジェクトの概要

戦略	取組の柱	取組の方向性
戦略1 魅力ある観光 資源の創出	(1) 地域色を活かした観光コンテンツの創出	<ul style="list-style-type: none"> ○地域資源を活用した観光コンテンツの発掘・磨き上げにより、市町村ごとの独自色を活かした観光地域づくりに取り組みます。 ○各地域が有する食、自然、伝統、季節等の魅力をテーマに応じて、有機的に連携した広域的なモデルルートを造成するなど、県全体の周遊向上を図ります。 ○観光需要の波を平準化し、通年観光を目指すために、閑散期（特に、観光客入込数が減少するグリーンシーズン、冬期）における観光コンテンツの造成を推進します。 ○宿泊者数の増加や消費額の高い「夜の滞在」を促すために、ナイトタイムコンテンツの造成を推進します。
	(2) みやぎの「食」、「自然」、「歴史・文化・芸術」の魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> ①みやぎの「食」 <ul style="list-style-type: none"> ○「食材王国みやぎ」が誇る食材の魅力発信や地産地消の推進に向け、生産者や食産業関連事業者等の連携を促進します。 ○観光客への訴求力を高めるため、食や食文化に関わる人、ストーリー性を意識したコンテンツを造成し、食を活かした周遊・滞在型観光を推進します。 ○食に携わる観光関連事業者が外国人旅行者の食の多様性を理解する機運を醸成するとともに、ハラール対応飲食店等の情報など、旅行者が安心して滞在できるよう食の情報発信を強化します。 ②みやぎの「自然」の魅力向上 <ul style="list-style-type: none"> ○宮城オルレの新規コース開設に合わせて、アジア・欧米諸国など、世界中のトレイルファンを誘客し、県内全域における周遊・長期滞在を促進します。 ○宮城オルレやみちのく潮風トレイル等のトレッキングコースをはじめとしたみやぎの自然を満喫できるアウトドアコンテンツの更なる利用促進・普及拡大を推進します。 ○SUP、サーフィン等自然や風景を活かしたアクティビティコンテンツの充実を図り、アドベンチャーツーリズムを推進します。

戦略	取組の柱	取組の方向性
戦略1 魅力ある観光 資源の創出	(2) みやぎの 「食」、「自然」、 「歴史・文化・ 芸術」の魅力向 上	<p>③みやぎの「歴史・文化・芸術」の魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学生等が地域の歴史や伝統文化・芸能などを学ぶ機会を創出し、地域の魅力を発信できる人材の育成やシビックプライドの醸成を図ります。 ○歴史・文化資源の創建記念事業などのイベントを契機として、地域の核となる観光コンテンツを造成し、県内外に魅力を発信します。 ○みやぎ応援ポケモンプラスを活用した周遊施策に加え、漫画やアニメの聖地巡礼などのアニメツーリズムを推進します。 ○映画やアニメ等のロケ地や舞台の誘致推進に向け、関係団体との連携を強化します。
	(3) 東日本大 震災の記憶・教 訓の伝承	<ul style="list-style-type: none"> ○国内外からの教育旅行の体験コンテンツとして、震災・防災・減災学習をテーマとしたプログラムの造成支援・情報発信を行うなど、本県ならではの教育旅行体験プログラムの充実を図り、教育旅行の誘致を促進します。 ○被災地の復興状況、復興に向けた取組や震災伝承施設の紹介をはじめ、震災を経験した語り部活動を通して、東日本大震災の記憶と教訓を後世に伝承するとともに、国内外に広く発信します。
	(4) DMOの 体制強化	<ul style="list-style-type: none"> ○観光地域づくりの司令塔となるDMOが展開する創意工夫ある取組を支援します。 ○地域活性化の手段として、既存 DMO との役割を整理の上、DMO の新規登録を推進します。 ○地域連携DMOである（公社）宮城県観光連盟が中心となり、関係団体や他DMOとの調整機能を担い、広域連携を進めます。

戦略	取組の柱	取組の方向性
戦略2 観光産業の活性化	(1) 人手不足対策	<p>○人材の効果的な配置やサービス水準の向上を目的として、業務効率化に向けた省人化・省力化設備の積極的な導入を支援します。</p> <p>○宿泊業の人材・人手不足に対応するため、学生や転職希望者等を対象に、宿泊施設とのマッチング機会を創出するとともに、従業員の定着促進やスキルアップを支援します。</p> <p>○宿泊業における外国人材受入れを促進するために、人材ニーズに応じた支援を行います。</p>
	(2) 観光人材の育成・確保	<p>○中小企業等において DX を推進する中核人材向けの研修を実施するほか、実務担当者向けの実践的・専門的研修を実施します。</p> <p>○インバウンドの誘客拡大を図るため、県内の全国通訳案内士やボランティアガイドのほか、学生や留学生等を対象としたセミナーや模擬ツアーを開催するなど、ガイド人材の育成・確保を推進します。</p> <p>○高等学校や大学等での出前授業等の機会を活用し、観光の意義や観光産業が地域の基幹産業であることの理解醸成を促進します。</p>
	(3) 新たな旅のスタイルへの対応強化	<p>○グリーンツーリズムの観点から、農林水産業等の関連産業との連携等を通して、体験型プログラムの充実を図ります。</p> <p>○県内でのワークスペース情報を積極的に発信するとともに、事業者や旅行者などからのニーズを踏まえ、ワーケーションやデジタルノマドなどの需要取り込みを図ります。</p> <p>○関係団体と連携した MICE の誘致活動強化や、プレジャーの普及を図ります。</p>

戦略	取組の柱	取組の方向性
戦略3 観光客受入環境整備の充実	(1) 観光地・観光産業の高付加価値化	<ul style="list-style-type: none"> ○観光地全体の魅力アップにつなげるために、ライトアップ、植樹や廃屋撤去等による景観整備を推進します。 ○滞在型観光の受け皿となる宿泊施設の高付加価値化やDX化を推進します。
	(2) インバウンド受入環境整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○滞在期間中の利便性向上に向け、キャッシュレス決済や無料公衆無線LAN等の整備を推進します。 ○観光案内板の多言語化や、飲食、宿泊施設等のメニューの多言語化を推進します。 ○災害等の緊急時における避難情報の提供などにより、外国人観光客の安全・安心な旅行環境の確保を図ります。
	(3) ユニバーサルツーリズムの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設や宿泊施設などのハード面や移動手段となる公共交通機関でのユニバーサルデザインを推進します。 ○バリアフリー対応や情報発信に積極的に取り組む姿勢のある観光施設を対象とした「観光施設における心のバリアフリー認定制度」の更なる普及拡大を図ります。
	(4) オーバーツーリズム対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○観光地内での自家用車以外の移動手段の確保により、道路渋滞の緩和を図ります。 ○観光地内の駐車場や観光施設の混雑状況を可視化し、情報発信することにより混雑の平準化を図ります。
	(5) 交通アクセスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ○主要駅等と県内観光地を結ぶシャトルバスの運行や乗合タクシーの運行に加え、レンタカーの活用を促進するなど、観光地までの円滑な移動を推進します。 ○観光地内での移動手段として、レンタサイクルに加え、電動キックボード等、ラストワンマイル対策を推進します。
	(6) 安全・安心な自然公園施設等の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○観光客の安全な利用に配慮した登山道や遊歩道の整備を推進します。 ○自然公園内の公衆トイレの洋式化やレストハウスの通信環境の改善を推進します。
	(7) 地域住民の「おもてなし」意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ○県民向けの観光に対する意識調査を行うとともに、観光振興による地域経済や雇用に対する効果を周知することにより、観光の重要性を再認識し、観光客に対するおもてなしの心の醸成を図ります。 ○旅行者に対して、日本のマナー・文化・風習への理解を促し、滞在期間中の満足度向上を図るとともに、地域住民の生活に配慮した旅行を推進します。

戦略	取組の柱	取組の方向性
戦略4 国内外との交流拡大の促進	(1) デジタルマーケティングの推進	<p>○県内旅行者へのアンケート調査や、県民・県外客へのWEBアンケート調査を通して、旅行者の属性、旅行目的等を把握し、データに基づいた政策の立案を行います。</p> <p>○東北観光DMP(Data Management Platform: データ マネジメントプラットフォーム)を活用し、動態データ等を基に、来訪者の周遊促進を図る取組を推進します。</p>
	(2) 戦略的な観光プロモーションの強化	<p>○海外新規市場の開拓に向け、趣味やテーマ性が高い目的に絞ったSIT(特定目的型旅行)に特化した海外旅行会社とのマッチング商談会の開催等により、市場別の誘客を強化します。</p> <p>○首都圏からの誘客拡大を目指し、羽田空港や成田空港を利用した訪日外国人旅行者に対してのプロモーションを推進します。</p> <p>○外国人向けポータルサイト「Visit MIYAGI」について、市場分析に基づき、掲載記事の充実を図ります。</p>
	(3) 市町村、関係団体等と連携したプロモーションの強化	<p>○東北観光推進機構が運営するWEBサイト旅東北を活用し、広域周遊モデルルート、観光スポットや体験型コンテンツなどのプロモーションを推進します。</p> <p>○東北観光推進機構や東北各県と連携し、現地旅行会社、インフルエンサー招請に加え、大阪・関西万博への共同出展により、東北一体となったPRを展開します。</p> <p>○仙台市と連携し、仙台・宮城へのインバウンドの誘客拡大に向けたプロモーションを推進します。</p>
	(4) ツーウェイツーリズムの推進	<p>○教育旅行において重要視される相互交流を促進し、将来の継続的なインバウンド拡大を図るため、国内外からの教育旅行の誘致や県内学校の海外教育旅行を推進します。</p> <p>○海外市場の分析を行い、相手国と相互にSITを実施することにより、双方向の交流拡大につなげます。</p> <p>○若年層の海外旅行促進を図るため、パスポート取得を推進します。</p> <p>○国外で人気のあるアウトドアコンテンツを契機とした相互交流を推進します。</p>
	(5) スポーツツーリズムの推進	<p>○プロスポーツのホームゲーム開催時に観光プロモーションを行うなど、プロスポーツと連携した誘客施策を推進します。</p> <p>○県内のスポーツ施設等を活用し、学生スポーツの大会や合宿誘致を推進します。</p> <p>○アウトドアスポットを活用し、国際競技大会等の大規模なスポーツ大会の誘致を推進します。</p>

戦略	取組の柱	取組の方向性
戦略4 国内外との交流拡大の促進	(6) ゲートウェイ機能を活用した誘客の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○地元自治体や経済団体等と緊密に連携し、新規路線の就航・寄港に向けた誘致強化及び受入体制の構築を図ります。 ○周遊観光を促すために、空港・港湾を起点とし、周辺の観光資源と連携した周遊プランの造成を推進します。 ○空港や港湾内における多言語観光案内や Wi-Fi 通信環境の確保など、宮城・東北のゲートウェイとして旅行者が利用しやすい受入環境の確保を図ります。

(2) 観光戦略プロジェクトごとの具体的な取組

戦略プロジェクト	戦略1 魅力ある観光資源の創出
	(1) 地域色を活かした観光コンテンツの創出
	(2) みやぎの「食」、「自然」、「歴史・文化・芸術」の魅力向上
	(3) 東日本大震災の記憶・教訓の伝承
	(4) DMOの体制強化
数値目標	宿泊観光客数(圏域別)
主な観光成果指標	観光客入込数、観光地としての推奨度、教育旅行マッチング件数(国内)、DMO登録数
施策展開の視点(令和8年度)	
<p>◆市町村や地域事業者、観光協会等と連携し、地域の特色を生かした既存観光資源の高付加価値化や、新たな滞在型・体験型コンテンツの造成を進め、地域ごとの魅力向上を図ります。</p> <p>◆地方振興事務所や商工団体、DMO等との広域連携の下、ナイトタイムコンテンツ、インバウンド等を意識した観光コンテンツの造成を進め、周遊促進、滞在時間の長期化及び観光消費額の拡大につなげます。</p>	
主な事業(令和8年度)	
<p>■宿泊税市町村交付金【観光戦略課】(185,481千円)</p> <p>地域の特色を生かした観光地域づくりを目指すため、市町村が行う滞在時間の長期化につながるコンテンツ造成などの観光振興施策を支援します。</p>	
<p>■圏域観光魅力向上推進事業【観光戦略課】(70,000千円)</p> <p>地方振興事務所・地域事務所が地域の事業者と連携して、地域に根差した観光資源を磨き上げる取組を行うことにより、観光客の地方誘客促進や観光消費の拡大を目指します。</p>	
<p>■ナイトタイムコンテンツ創出事業【観光戦略課】(60,000千円)</p> <p>観光客の県内周遊や長期滞在につなげ、ナイトタイムエコノミーによる観光消費の拡大を図るため、多賀城政庁跡等を会場としたライトアップ等によるナイトタイムイベントを実施します。</p>	
<p>■宮城オルレ推進事業【観光戦略課】(66,000千円)</p> <p>韓国済州島発祥のトレッキング「オルレ」の宮城県版「宮城オルレ」のコースを県内各地で整備し、魅力あるコンテンツとして磨き上げ、国内外からの誘客促進・交流人口の拡大を図ります。</p>	
<p>■宮城県観光地域づくり支援事業補助金【観光戦略課】(70,000千円)</p> <p>県内各地域の特色を活かした持続可能な観光地づくりを促進するため、観光コンテンツ創出等支援事業補助金を交付し、市町村観光協会等が行う観光コンテンツの新規造成、既存観光コンテンツの磨き上げや地域の観光課題の解決などの観光消費拡大に資する取組を支援します。</p>	

主な事業(令和8年度)

■欧米豪市場向け宮城県観光魅力再評価・品質向上事業【観光戦略課】(20,000千円)

欧米豪市場に詳しいランドオペレーター等を招き、県内観光コンテンツを視察・評価してもらい、「Visit Miyagi」での発信を強化して本県への誘客を促進するとともに、ランドオペレーター等からのフィードバックや情報を得て、欧米豪から東北への送客に繋がる関係構築を図るもの

■商工団体と連携した訪日外国人向けビジネスチャンス創出事業【商工金融課】(15,300千円)

増加する訪日外国人の需要を取り込み、地域経済の活性化を図るため、地域内で外国人の回遊・消費を促す取組や外国人の嗜好に合わせた商品開発など、ネットワークやノウハウ等を活かして地域事業者の商機創出を支援する商工団体に対して助成を行う。

■商店街NEXTリーダー創出事業【商工金融課】(11,800千円)

魅力ある商店街の形成を促進するため、先進事例等を学ぶセミナー、実践事業への補助及びネットワーク会議により、商店街活動の新たな担い手や中心人物の創出を支援する。

■放射光施設利用促進事業【新産業振興課】(非予算)

令和6年4月から運用開始された、3 GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu (ナノテラス) の見学機会の創出や関係機関と連携した情報発信等を行う。

■みやぎ蔵王ブランド推進事業【大河原地方振興事務所】(1,124千円)

仙南地域の「食と観光のブランド化」を目的とした産業振興と広域観光推進を図るため、「みやぎ蔵王三十六景」「みやぎ蔵王温泉郷」等を活用した観光振興策を、管内市町・関係機関・DMO・周辺観光圏との連携により展開します。

■観光と食の魅力発信支援事業【東部地方振興事務所】(744千円)

観光関係団体や商工団体、事業者等と連携し、石巻地域の特産品や観光資源を広く発信し、販路拡大と誘客促進を図るとともに、地域ブランド力の向上と地元産業の活性化を図る。

■最上・雄勝・大崎三県連携交流事業【北部地方振興事務所】(944千円)

大崎地域と山形県最上地域・秋田県雄勝地域との県境を越えた広域的な取組として、三地域合同で情報発信や観光PR等を実施します。

■サイクルツーリズム等アウトドアアクティビティ推進事業【気仙沼地方振興事務所】

(1,674千円)

当圏域の観光資源であるみちのく潮風トレイルやオルレに加え、令和7年度に整備が完了した「震災復興・伝承みやぎルート」を活かした当圏域への誘客を目指し、これらの魅力を発信し、新規顧客の開拓を促進するため、情報発信を通じて、観光誘客に繋げる。

戦略プロジェクト	戦略2 観光産業の活性化
	(1) 人手不足対策
	(2) 観光人材の育成・確保
	(3) 新たな旅のスタイルへの対応強化
数値目標	宿泊観光客数、観光消費額、観光消費額単価
主な観光成果指標	県内総生産、宿泊施設数、デジタル化取組状況、MICE開催数
施策展開の視点(令和8年度)	
<p>◆宿泊業における人材不足への対応を図るため、業務実習、マッチング、ガイド育成、外国人材の確保・定着支援等を進めるとともに、デジタル化や生産性向上、経営改善への支援により、観光産業を支える事業者の持続可能な経営基盤の強化を図ります。</p> <p>◆質の高いガイド機能の強化やMICE誘致の推進等により、旅行者満足度の向上、観光消費額の増加及び高い経済波及効果の創出を図り、観光産業全体の付加価値向上につなげます。</p>	
主な事業(令和8年度)	
<p>■観光人材育成・確保支援事業【観光戦略課】(60,000千円) 旅館、ホテル等における人材確保のため、宿泊施設での実習を通じた人材育成やマッチングを支援するほか、観光産業の持続的成長に向けて、学生、留学生等を対象とした勉強会やフィールドワークの実施により、通訳ガイドの育成を支援します。</p> <p>■中小企業等デジタル化支援事業【中小企業支援室】(257,000千円) 生産性向上等を目的とした県内中小企業等のデジタル化の取組について、アドバイザー派遣及び導入経費の補助を行い、デジタル化の推進を図ります。</p> <p>■中小企業等再起支援事業【中小企業支援室】(1,300,000千円) 原油価格・物価高騰の影響によって業績が悪化し、経営の維持向上に支障をきたしている中小企業・小規模事業者が、早期の再起を図るために行う、販路開拓や生産性向上等の取組を支援します。</p> <p>■外国人材活躍推進事業【国際政策課】(73,000千円) 外国人材の確保に向け、合同企業説明会等の開催により、企業と外国人材の交流機会を創出するなどし、マッチングを支援するとともに、外国人材の定着を図るため、キャリアアップを後押すための企業補助や外国人材に対する感謝を伝えるイベントを開催します。</p> <p>■観光ガイド機能強化事業【観光戦略課】(26,000千円) 観光コンテンツの魅力を高め、旅行者の満足度や観光消費額を増加させるためにはローカルガイドの存在が不可欠であるため、質の高いガイド人材を確保・育成し、観光地域の最大限の魅力を引き出します。</p> <p>■MICE(国際会議等)の誘致推進事業【観光戦略課】(1,860千円) 多くの外国人を一時に招致できるMICE(国際会議等)の誘致を積極的に実施し、高い経済波及効果を生み出すため、専門のスタッフを抱え誘致事業に精通した団体への補助を行います。</p>	

戦略プロジェクト	戦略3 観光客受入環境整備の充実
	(1) 観光地・観光産業の高付加価値化
	(2) インバウンド受入環境整備の推進
	(3) ユニバーサルツーリズムの推進
	(4) オーバーツーリズム対策の推進
	(5) 交通アクセスの充実
	(6) 安全・安心な自然公園施設等の整備
	(7) 地域住民の「おもてなし」意識の醸成
数値目標	宿泊観光客数、外国人宿泊観光客数、観光消費額単価
主な観光成果指標	観光地満足度（魅力、二次交通）、リピーター率（2回以上の来訪）、再来訪意向、外国人観光客に対する受入意向、自然公園等環境整備件数（工事件数）
施策展開の視点(令和8年度)	
<p>◆訪日外国人旅行客等の受入環境を整備するため、経路検索サービスの多言語化やバスツアーの造成することで、観光客に対するおもてなし態勢の向上を図ります。</p> <p>◆交通アクセスを充実させるために、観光地間や観光地内での移動手段を確保しようとする事業者に対して補助することで、観光地における消費機会を創出します。</p>	
主な事業(令和8年度)	
<p>■レンタカーを活用した県内周遊促進事業【観光戦略課】(50,000千円) レンタカー利用者に対するインセンティブを創設し、特に仙台市以外に宿泊した場合のメリットを大きくすることにより、地方部への周遊を促進し、県全体の宿泊者数の底上げを図ります。</p> <p>■観光地ラストワンマイル対策支援事業【観光戦略課】(30,000千円) レンタサイクルや電動キックボード等の設置を推進し、観光地内での周遊促進を図ります。</p> <p>■インバウンド向けツアーバス運行事業【観光戦略課】(60,000千円) 訪日外国人が増加する中、宮城・東北への更なる誘客拡大を目指すため、インバウンド向けのバスツアーを造成し、県内観光地の認知度向上を図るとともに、県内・東北各地への周遊を促します。</p> <p>■交通DX推進事業【地域交通政策課】(29,800千円) 訪日外国人旅行客等の受入環境を整備するため、Google マップの経路検索サービスに多言語化された路線バスの運行情報を掲載するための支援を行います。</p> <p>■農山漁村体験おもてなし支援事業【農山漁村なりわい課】(10,500千円) 農山漁村の魅力を活かした体験等を組み合わせ、多様なニーズに対応した農泊ツアーを造成し、農山漁村に複数回来訪する機会の創出と地域間連携により周遊性を向上させ、新たな交流人口・関係人口の拡大を図り、農山漁村地域の所得向上を目指します。</p>	

戦略プロジェクト	戦略4 国内外との交流拡大の促進
	(1) デジタルマーケティングの推進
	(2) 戦略的な観光プロモーションの強化
	(3) 市町村、関係団体等と連携したプロモーションの強化
	(4) ツーウェイツーリズムの推進
	(5) スポーツツーリズムの推進
	(6) ゲートウェイ機能を活用した誘客の推進
数値目標	宿泊観光客数、外国人宿泊観光客数
主な観光成果指標	居住地別宿泊観光客数、訪問経験、県民の出国者数、訪日外国人旅行消費額、仙台空港定期便運航数（国内線、国際線）
施策展開の視点(令和8年度)	
<p>◆観光消費額単価が高く、滞在日数が長い欧米豪を誘客ターゲットとして、北の持つ自然、歴史、食の魅力の認知・定着を図るため、インバウンド需要の取り込みが十分ではない東北への誘客を他団体と共に展開します。</p> <p>◆本県のインバウンドの大半を占めるアジア圏の底上げを図るために、ツーウェイツーリズムを推進するだけでなく、仙台空港の路線拡充を図ります。</p>	
主な事業(令和8年度)	
<p>■ツーウェイツーリズム推進事業【観光戦略課】(7,900千円)</p> <p>若年層の海外との交流機会を創出して国際相互理解力を向上させるとともに、海外との交流拡大を通じて、空港路線の維持・拡大を図り、インバウンドの更なる誘客拡大につなげるため、県内の中学校、高等学校等が実施する海外教育旅行費用に対して助成します。</p>	
<p>■新規市場（欧米豪）向けプロモーション事業【観光戦略課】(126,440千円)</p> <p>滞在期間が長く、消費単価が高い傾向にある欧米豪市場の訪日旅行者における東北地方や宮城県の全国シェアは1%と極めて低い水準にとどまっているため、戦略的プロモーションを展開し、宮城県および東北地方の認知度の拡大や誘客を促進することにより観光消費の拡大と地域経済の活性化を図ります。</p>	
<p>■みやぎ情報発信共創プラットフォーム【地域振興課】(22,000千円)</p> <p>フランスを中心とした欧州市場の長期滞在・高付加価値マーケットに対し、東北の持つ自然、歴史、食の魅力の認知・定着を図るため、インバウンド需要の取り込みが十分ではない東北への誘客を、東北観光推進機構、新潟県を含む東北各県及び仙台市と連携し強力に展開します。</p>	
<p>■仙台空港グランドハンドリング等体制整備事業【空港臨空地域課】(2,000千円)</p> <p>仙台空港のグランドハンドリング等を担う人材の確保に向けて、小中学生及び保護者を対象とした航空教室を開催し、空港業務のPRとイメージアップを図ります。</p>	
<p>■仙台空港グローバル・ゲートウェイ機能強化事業【空港臨空地域課】(32,000千円)</p> <p>仙台空港の路線拡充を図るため、グランドハンドリング事業者に対して、エアラインの新たな就航や増便等の希望を受け入れる際に必要となる費用の一部を補助します。</p>	

No.	担当課室名	事業名	事業概要	事業年度		
				R7	R8	R9
106	農山漁村なりわい課	農山漁村体験おもてなし支援事業	農山漁村の魅力を活かした体験等を組み合わせ、多様なニーズに対応した農泊ツアーを造成し、農山漁村に複数回来訪する機会の創出と地域間連携により周遊性を向上させ、新たな交流人口・関係人口の拡大を図り、農山漁村地域の所得向上を目指す。		●	●
107	道路課	交通安全事業	サイクルツーリズムのモデルルートとして沿岸部を巡る「震災復興・伝承みやぎルート」を設定し、走行環境及び受入環境の整備を行う。	●	●	●
108	港湾課	クルーズ船受入促進事業	国内外からの誘客を図るため、仙台塩釜港へのクルーズ船の誘致活動を行うとともに、寄港時の受入対応(おもてなし)を行う。	●	●	●
109	空港臨空地域課	仙台空港地域連携・活性化事業	国際線の路線維持・拡充のため、パスポート保有率向上及びアウトバウンド需要拡大を図ることを目的に、若者を対象とし、みやぎポイントを活用したパスポート取得キャンペーンを実施する。	●	●	●
110	空港臨空地域課	仙台空港600万人・5万トン実現推進事業	路線の維持・拡充及び将来的な航空需要の創出を目的とし、県民(主に若者)に対して、旅行意欲の喚起・定着につなげるためのプロモーションを行うほか、仙台空港からの航空貨物取扱量増加に向けた核となる商材の掘り起こしなどを行う。	●	●	●
111	空港臨空地域課	航空路線誘致促進事業	新規就航等を後押しすることを目的に、仙台空港国際化利用促進協議会を通じ、航空会社に対する助成を行う。	●	●	●
112	空港臨空地域課	仙台空港グランドハンドリング等体制整備事業	仙台空港のグランドハンドリング等を担う人材の確保に向けて、小中学生及び保護者を対象とした航空教室を開催し、空港業務のPRとイメージアップを図る。	●	●	●
113	空港臨空地域課	仙台空港グローバル・ゲートウェイ機能強化事業	仙台空港の路線拡充を図るため、グランドハンドリング事業者に対して、エアラインの新たな就航や増便等の希望を受け入れる際に必要となる費用の一部を補助する。		●	●
114	都市計画課	みやぎの景観形成事業	景観形成に係る普及啓発及び市町村の景観計画策定の支援を行う。	●	●	●
115	公営事業課	仙台港周辺地域における賑わい創出事業	仙台港周辺地域に立地する企業を中心に設立された官民連携組織である「仙台港周辺地域賑わい創出コンソーシアム」を推進母体として、仙台港周辺地域のポテンシャルを活かした観光資源の磨き上げを図る。	●	●	●
116	高校教育課	地域に開かれた高等学校魅力化事業	地域等の課題の解決に取り組む等、生徒が学びたい地域に根ざした開かれた学校づくりを展開している高校を指定し、学校運営協議会、学校地域パートナーシップ会議等により地域資源を活用しながら、学びの意識や自己の役割に対する認識を深める教育プログラム等の取組について支援する。	●	●	●
117	生涯学習課	自然の家人と自然の交流事業	各県立自然の家の立地環境を生かし、自然環境への興味関心を高める自然体験活動プログラムを実施する。	●	●	●
118	文化財課	日本遺産魅力発信推進事業	日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」に認定されたストーリーを構成する文化遺産を活かし、周遊促進による観光振興と地域活性化を図る。	●	●	●
119	文化財課	多賀城政庁復元検討事業	特別史跡多賀城跡のほぼ中央に位置し、重要な政務や儀式等を行う場である「政庁」の復元に向けた検討を行う。	●	●	
120	交通規制課	「観光力強化」のための交通安全施設整備事業	外国人旅行者や障害のある方などをはじめとした全ての旅行者が、安全安心かつアクセスしやすい交通環境を整備するため、マイカーやバスのアクセス性向上につながる交通管制システムの拡充及び英語を併記する交通規制標識の整備、また、バリアフリー型交通安全施設等の更なる整備や充実を図る。	●	●	●

該当する戦略																							
戦略1				戦略2			戦略3							戦略4									
(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)				
●	●						●	●															
			●																				
																				●			
																				●			
																				●			
																				●			
																				●			
																				●			
●																				●			
																				●			
●	●							●	●					●						●			
																				●			
																				●			
																				●			

